工高タイムス

北海道旭川工業高等学校新聞局
〒078-8804
北海道旭川市緑が丘東4条１丁目１－１
発行人（局長）
村岡　良祐
（工業化学科３年）

工高祭応援号4

盛り上がったクラスステージ
舞台からの景色が良かった

情3 達成感が強く残った

情報技術科の3年生は「今日から俺は、寸劇&ダンス」を計15人で行なった。

リーダーの上口護君は「皆の意見をまとめるのが難しく、最初は部分的にフリーダンスにした方がいいなど、いろんな意見があった。衣装などは手作りで、本人の体格に合わせるよう頑張った。終わった後に、観客の人たちの歓声を聞いて、会場を盛り上げられてうれしかった。最前列にクラッカーを渡して、最後まで楽しめるように工夫した。今回が最後のクラスステージだったが達成感が強く残り、このメンバーと最後まで出れて良かった」と語った。

決めポーズをする情報技術科3年生

土3 団結力を高められた

土木科3年生は5人で出場しREDIO FISHの「PERFECT HUMAN」と「ナルトダンス」を踊った。

リーダーの松浦一輝君は「目立ちたいと思い参加した。5人が一丸となってパーフェクトヒューマンを踊るのに苦労した。ステージ上からの景色が良く楽しかった。メンバーたちと団結力を高め、本番で息を合わせ発表できたので良かった。反省点はクラス全員で審査員の視界を邪魔してしまったこと」と話した。

5人が一丸となった土木科3年生

機2 ダンスの技術を向上

電子機械科2年生はCUTIE STREETの「かわいいだけじゃだめですか?」のダンスを披露した。

リーダーの須田奏太君は自分たちの力で盛り上げたいと思ったのでクラスステージを選んだという。「本気で練習した成果を発揮できたので良かった。人がたくさんいる中での披露は初めてだったので緊張した。ダンスのできていないところをお互いに指摘しあってダンスの技術を向上できた。踊るときの立ち位置と振り付けを覚えるのが大変だった」と語った。

CUTIE STREETになりきる男子

恋ダンスを踊る工業化学科2年生

化2 会場がノリノリ

工業化学科2年生は5人で星野源の「恋ダンス」とラブライブの「愛スクリーム」のダンスを披露した。体育館の皆が盛り上がれるようにした方がいいと思い、この曲を選んだという。

リーダーの稲場優太君は「体育館の生徒を含め観客全体がノリノリだったので良かった。練習を始めたときは踊る人が少なかったので、メンバーの人数を増やすのが大変だった。愛スクリームのときの歌では音程が高かったので、歌うのが難しく練習が大変だった」と話した。

電1 トラブルを乗り切る

電気科1年生はQUTIE STREETの「かわいいだけじゃだめですか?」とM!LKの「イイじゃん」のサビと「ナルトダンス」の踊りを披露した。

リーダーの阿部航大君は「照明トラブルがあったが、なんとか乗り切った。練習ではバラバラだったが、本番ではそろったところが良かった。練習のときはキレを出すことフォーメンションをそろえること、大声を出してもダンスの振り付けを忘れないように練習をした」と語った。

かわいいだけじゃだめですか?」のセンターを務めた堺陽向君は「覚えることが多かったが、インパクトを与えるために動きを大きくして、大きな声を出した。ステージに立てて、自分らしさを出せることができた。練習ではしっかり本番を意識してダンスの練習をした」と話した。

センターで踊る堺陽向君（電1）

建1 学級全員で踊る

建築科1年生は生徒全員と担任の西野朋和先生が5曲メドレーで踊りを披露した。曲は「カンナムスタイル」「恋するフォーチュンクッキー」「かわいいだけじゃだめですか?」「イイじゃん」「BANG BANG BANG」で、曲ごとに違うダンスを披露した。西野先生は最後の「かわいいだけじゃだめですか」で生徒と一緒に踊った。

小野瑞季さんは「5、6時間で振りを覚えた。準備期間中は踊って確認してを繰り返した。緊張したが友達や先生と協力してステージで踊ることができて楽しかった。練習期間中は色々な係の人を集めてダンスを教えたり、立ち位置を決めて説明するのが難しくて大変だった。私はダンスが苦手で覚えるのが大変だったが、クラスステージにでる友達がたくさん協力して教えてくて、皆にも教えることができたので良かった」と語った。

生徒と一緒に踊る西野先生（中央）